

第12節 まちづくり全体について

問34 あなたは、現在の紋別市は、元気だと思いますか。【〇は1つだけ】

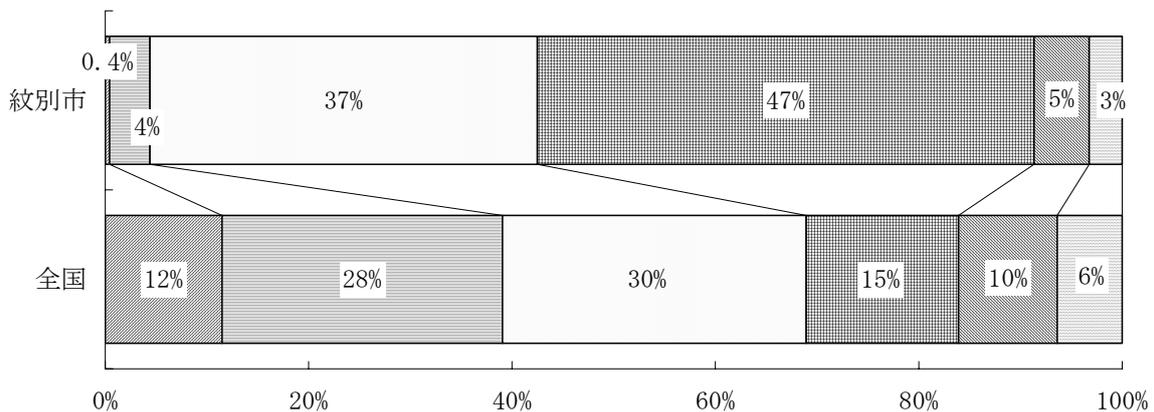
	問2 年齢（再区分）						合計	
	10～30歳代		40・50歳代		60歳以上			
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 元気がある	0	0.0%	1	0.2%	3	0.7%	5	0.4%
2 多少元気がある	12	4.4%	8	1.9%	24	5.5%	44	3.8%
3 あまり元気がない	69	25.6%	145	35.3%	191	43.6%	419	36.5%
4 元気がない	146	54.1%	220	53.5%	162	37.0%	537	46.8%
5 どちらともいえない	21	7.8%	17	4.1%	21	4.8%	60	5.2%
6 わからない	13	4.8%	6	1.5%	16	3.7%	36	3.1%
無回答	9	3.3%	14	3.4%	21	4.8%	46	4.0%
合計	270	100.0%	411	100.0%	438	100.0%	1,147	100.0%

「紋別市は元気があると思うか」については、「元気がある」は0.4%、「多少元気がある」は4%、「あまり元気がない」が37%、「元気がない」が47%、「どちらともいえない」が5%、「わからない」が3%という結果になっています。また、年齢区分別では若い層ほど厳しい認識を持っています。

国の「地域再生に関する特別世論調査（平成17年9月）」では、「元気がある」が12%、「多少元気がある」が28%あることから、本市の活力に対して、市民は大変厳しい認識を持っていることがわかります。

紋別市は元気があると思うか

■ 1 元気がある	■ 2 多少元気がある	□ 3 あまり元気がない
■ 4 元気がない	■ 5 どちらともいえない	□ 6 わからない

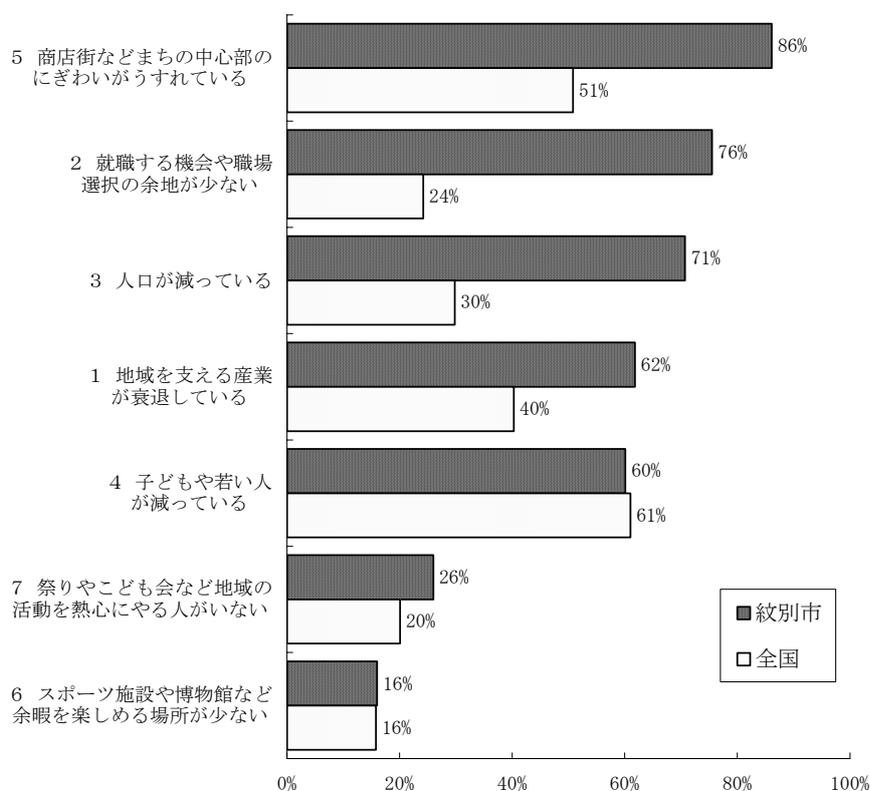


<問34で3、4のいずれかを回答された方におたずねします>

問34-1 紋別市は、どのような点で「元気がない」と感じますか。【〇はいくつでも】

	問2 年齢（再区分）						合計	
	10～30歳代		40・50歳代		60歳以上			
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 地域を支える産業が衰退している	108	50.2%	238	65.2%	229	64.9%	591	61.8%
2 就職する機会や職場選択の余地が少ない	161	74.9%	286	78.4%	257	72.8%	722	75.5%
3 人口が減っている	140	65.1%	252	69.0%	270	76.5%	676	70.7%
4 子どもや若い人が減っている	134	62.3%	215	58.9%	211	59.8%	575	60.1%
5 商店街などまちの中心部にぎわいがうすれている	186	86.5%	318	87.1%	298	84.4%	823	86.1%
6 スポーツ施設や博物館など余暇を楽しめる場が少ない	58	27.0%	57	15.6%	34	9.6%	153	16.0%
7 祭りや子ども会など地域の活動を熱心にやる人がいない	51	23.7%	96	26.3%	95	26.9%	249	26.0%
8 その他	5	2.3%	13	3.6%	5	1.4%	23	2.4%
10 わからない	0	0.0%	0	0.0%	2	0.6%	2	0.2%
無回答	5	2.3%	5	1.4%	9	2.5%	20	2.1%
合計	215	100.0%	365	100.0%	353	100.0%	956	100.0%

元気がない理由（割合が高い順に掲載）



元気がない理由は、「中心部にぎわいがうすれている」や「就職する機会や職場選択の余地が少ない」、「人口が減っている」、「地域を支える産業が衰退している」、「子どもや若い人が減っている」が6割～8割強となっています。

国の「地域再生に関する特別世論調査（平成17年9月）」と比較し、多くの項目で全国平均の割合を大幅に上回っています。

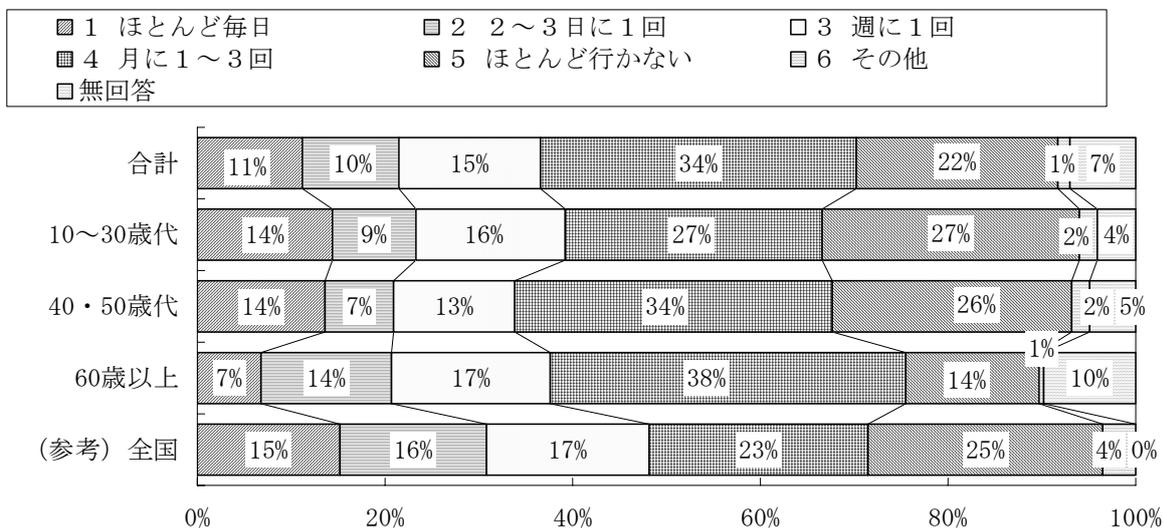
問 35 あなたは、まちの中心部(幸・本町 1～7 丁目)にどの程度行きますか。【〇は1つだけ】

	問 2 年齢 (再区分)						合計	
	10～30 歳代		40・50 歳代		60 歳以上			
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 ほとんど毎日(中心部に住んでいる又は勤務している場合も含む)	39	14.4%	56	13.6%	30	6.8%	128	11.2%
2 2～3日に1回程度	24	8.9%	30	7.3%	61	13.9%	118	10.3%
3 週に1回程度	43	15.9%	53	12.9%	74	16.9%	173	15.1%
4 月に1～3回程度	74	27.4%	139	33.8%	166	37.9%	386	33.7%
5 ほとんど(全く)行かない	74	27.4%	105	25.5%	62	14.2%	247	21.5%
6 その他	5	1.9%	8	1.9%	2	0.5%	15	1.3%
無回答	11	4.1%	20	4.9%	43	9.8%	80	7.0%
合計	270	100.0%	411	100.0%	438	100.0%	1,147	100.0%

「まちの中心部に行く頻度」は、回答者全体では、「ほとんど毎日」が11%、「2～3日に1回」が10%、「週に1回」が15%、「月に1～3回」が34%、「ほとんど行かない」が22%などとなっています。年齢区分別では、若い層ほど、行く頻度が高い人も低い人も多いという傾向がみられます。これは、若い層ほど外出が活発であることと、車での移動が多くなることが理由として考えられます。

国の「小売店舗等に関する世論調査(平成17年5月)」と比較すると、全国平均の方が「まちの中心部に行く頻度」は多い傾向がみられます。

まちの中心部に行く頻度



問 36 あなたにとって、まちの中心部が果たしている役割や、中心部に望んでいることは何ですか。【〇はいくつでも】

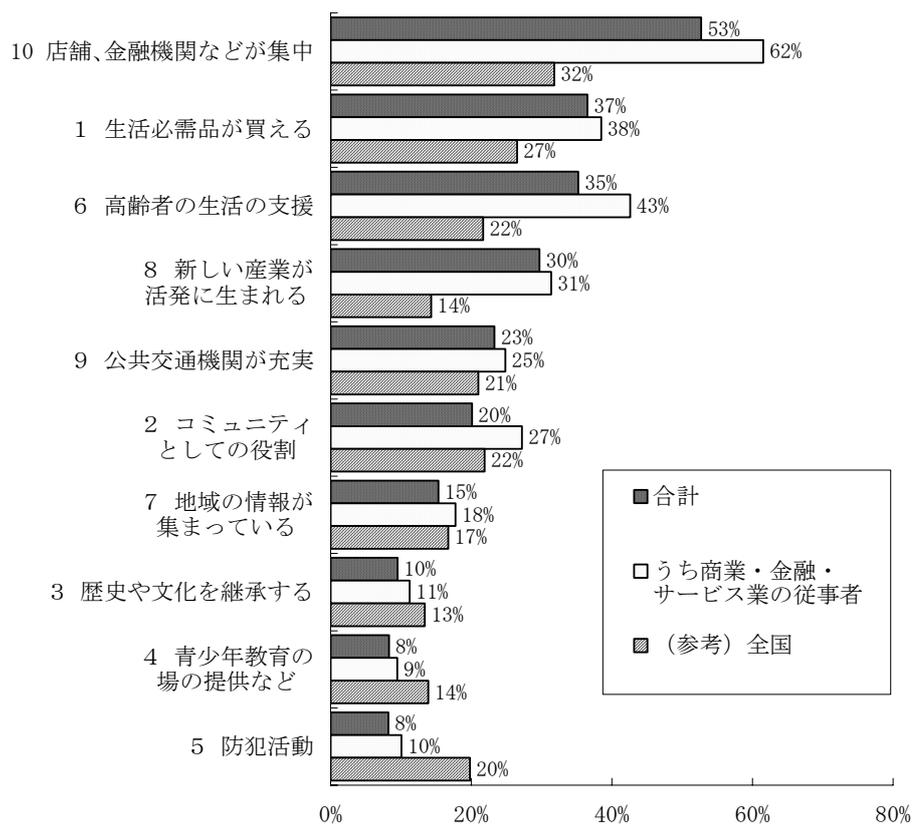
	問3 職業（再区分）						合計	
	製造・水産加工・建設業		商業・金融・サービス業		主婦（パートタイム含む）			
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 生鮮食品などを中心とした生活必需品が買えること	40	30.8%	65	38.5%	116	38.7%	419	36.5%
2 地元の人々が集まり、話し合うコミュニティとしての役割	27	20.8%	46	27.2%	56	18.7%	230	20.1%
3 地域の歴史や文化を継承する役割	7	5.4%	19	11.2%	25	8.3%	109	9.5%
4 青少年の教育の場の提供など健全育成の支援（職場体験学習の場の提供など）	8	6.2%	16	9.5%	24	8.0%	95	8.3%
5 まちの中心部やその周辺地域の防犯活動（商店街の店主などによる防犯パトロール、緊急避難場所の確保など）	6	4.6%	17	10.1%	17	5.7%	94	8.2%
6 車社会に対応できない高齢者の生活の支援活動（買い物などの支援）	37	28.5%	72	42.6%	121	40.3%	404	35.2%
7 地域の情報が集まっていること	20	15.4%	30	17.8%	48	16.0%	176	15.3%
8 新しい産業が活発に生まれること	33	25.4%	53	31.4%	93	31.0%	341	29.7%
9 公共交通機関が充実（路線バス・高速バスの維持・増便など）すること	25	19.2%	42	24.9%	70	23.3%	267	23.3%
10 小売店舗、金融機関、市役所、病院などの施設が集中し、まとまったサービスが提供されること	69	53.1%	104	61.5%	159	53.0%	604	52.7%
11 果たしている役割はない、望んでいることはない	11	8.5%	6	3.6%	14	4.7%	55	4.8%
12 わからない	7	5.4%	9	5.3%	24	8.0%	85	7.4%
無回答	10	7.7%	1	0.6%	11	3.7%	78	6.8%
合計	130	100.0%	169	100.0%	300	100.0%	1,147	100.0%

※職業は、農林水産業、学生、無職等の方は表記していない。

「中心部の役割や、中心部に望むこと」は、回答者全体では、「店舗、金融機関などが集中」が53%で最も高い割合となっており、次いで「生活必需品が買える」が37%、「高齢者の生活の支援」が35%などとなっています。職業区分別では、「商業・金融・サービス業の従事者」は、回答者全体と比較し、ほとんどの選択肢で回答割合が高くなっていますが、その差は多いもので10%程度です。

また、国の「小売店舗等に関する世論調査（平成17年5月）」と比較すると、多くの選択肢で、本市の調査の方が、全国平均より割合が高くなっています。特に、「店舗、金融機関などが集中」しているという拠点性に対し、市民は強い期待を持っているといえます。

中心部の役割や、中心部に望むこと（割合が高い順に掲載）



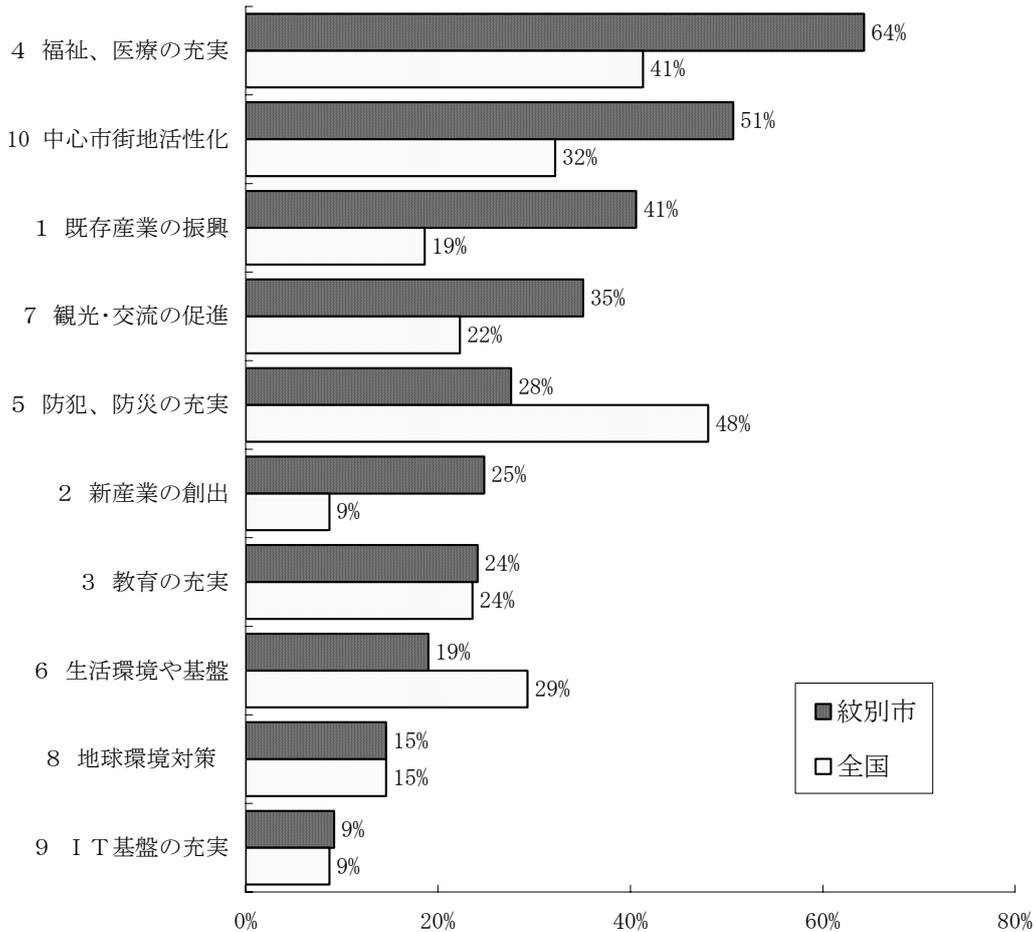
問 37 紋別市が今よりもさらに良くなるために、特に期待することはどのようなことですか。【〇はいくつでも】

	問 2 年齢（再区分）						合計	
	10～30 歳代		40・50 歳代		60 歳以上		人数	割合
	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
1 農林水産業や伝統的な地場産業、地域の既存産業の振興	68	25.2%	191	46.5%	199	45.4%	466	40.6%
2 地域の研究機関などと連携した新産業の創出	44	16.3%	123	29.9%	111	25.3%	285	24.8%
3 地域の人材を育成するための特色ある教育の充実	80	29.6%	93	22.6%	96	21.9%	276	24.1%
4 多様な世代が共に暮らせるための福祉、医療の充実	167	61.9%	276	67.2%	279	63.7%	737	64.3%
5 安心して住み続けるための防犯、防災対策の充実	76	28.1%	88	21.4%	142	32.4%	316	27.6%
6 道路、公園などの生活環境や産業振興のための基盤整備	75	27.8%	63	15.3%	74	16.9%	218	19.0%
7 祭り、自然、街並みなどの地域資源を活かした観光・交流の促進	136	50.4%	129	31.4%	131	29.9%	403	35.1%
8 リサイクルや二酸化炭素の排出抑制などの地域からの地球環境対策	48	17.8%	50	12.2%	66	15.1%	168	14.6%
9 地域独自の情報発信のためのメディアやIT基盤の充実	36	13.3%	43	10.5%	25	5.7%	105	9.2%
10 商店街の活性化対策や、まちなかの居住環境の向上などの中心市街地の活性化	119	44.1%	201	48.9%	247	56.4%	581	50.7%
11 その他	13	4.8%	10	2.4%	4	0.9%	29	2.5%
12 特にない	5	1.9%	8	1.9%	5	1.1%	18	1.6%
13 わからない	7	2.6%	17	4.1%	18	4.1%	45	3.9%
無回答	8	3.0%	15	3.6%	35	8.0%	62	5.4%
合計	270	100.0%	411	100.0%	438	100.0%	1,147	100.0%

「市が今より良くなるために、期待すること」は、回答者全体では、「福祉、医療の充実」が64%で最も高い割合となっており、次いで「中心市街地活性化」が51%、「既存産業の振興」が41%、「観光・交流の促進」が35%などとなっています。年齢区分別では、若い層で「観光・交流の促進」の割合が高く、高齢層で「既存産業の振興」の割合が高い傾向がみられます。

また、国の「地域再生に関する特別世論調査（平成17年9月）」と比較すると、多くの選択肢で、本市の調査の方が、全国平均より割合が高くなっています。

市が今より良くなるために、期待すること（割合が高い順に掲載）



問 38 あなたは、今後の紋別市が、以下の5つの分野で、特にどの分野を優先してまちづくりを進めるべきだと思いますか。【〇は1つだけ】

	問3 職業（再区分）						合計	
	農林水産業		商工・サービス業		公務員、団体職員			
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 保健・医療・福祉の充実	17	38.6%	115	38.5%	51	52.6%	526	45.9%
2 生活環境・都市基盤の充実	3	6.8%	39	13.0%	13	13.4%	108	9.4%
3 生活を支える産業の振興	17	38.6%	108	36.1%	20	20.6%	316	27.6%
4 教育・文化の振興	1	2.3%	2	0.7%	1	1.0%	12	1.0%
5 健全で開かれた行財政運営	3	6.8%	21	7.0%	7	7.2%	92	8.0%
無回答	3	6.8%	14	4.7%	5	5.2%	93	8.1%
合計	44	100.0%	299	100.0%	97	100.0%	1,147	100.0%

「まちづくりの優先分野」については、回答者全体では、「保健・医療・福祉の充実」が46%で割合が最も高く、次いで「生活を支える産業の振興」が28%、「生活環境・都市基盤の充実」が9%、「健全で開かれた行財政運営」が8%、「教育・文化の振興」が1%となっています。自営や民間勤めの方は、「生活を支える産業の振興」が「保健・医療・福祉の充実」と同じくらい高い割合となっています。

まちづくりの優先分野

